

櫻守の会

2021年2月号

2021年2月1日（通巻261号）
発行：櫻守の会代表 近藤 茂
〒665-0845 宝塚市栄町3-4-10-505
会員数 114名（1月25日現在）
HP：<https://www.sakuramori.net/>

コロナ感染防止に関する櫻守の会の取り組みについて

代表 近藤 茂

新型コロナウイルス感染者が冬に入ってから増え続け、1月13日に兵庫県にも緊急事態宣言が発出されましたが、感染者数は未だに下がり切っていない状況が続いています。櫻守の会では昨年末に「1月11日までの活動を休止する」ことを決め、更に1月9日に「1月12日以後の環境学習支援を含む全ての活動を引き続き休止する」ことを決めて皆様にお伝えしました。政府は「不要不急の外出を控えてください」とお願いしている一方で観劇・文化教室・スポーツ観戦・スポーツジムなどの開催を認めていて、対応がチグハグと感じられる場面が随分ありますので、櫻守の会が活動の休止を決めた理由を皆様にお伝えします。

昨年の4月頃とは異なり、感染のメカニズムや注意点が随分わかってきました。コロナ感染ルートは唾液の飛沫が口や鼻に入ることがほとんどであり、マスクをして手洗いを行っていただければ感染をかなり防ぐことが可能ということ、そして高齢者が感染した場合は重症化するリスクが非常に高いということが明らかになってきました。櫻守の会の活動を見た場合、活動環境は3密ではないとしても「常時マスクをしての活動は難しい」こと、そして会員皆さんは高齢者が多いことは申し上げるまでもありません。自分が感染しない、他人に感染させない、そのような理由から、櫻守の会は自主的に活動を休止することとしました。

活動を再開する時期は、緊急事態宣言が解除される日を目途として、その時点の状況を総合的に判断し決定して、皆様に速やかにお伝え致します。メール又は携帯ショートメールのチェックを適時お願いします。

櫻守の会の活動に参加することを楽しみにしている会員の方が大勢おられることは十分承知していますが、感染が収まるまで今しばらくの我慢をお願い申し上げます。

2021年1月度（2020年12月下旬） 活動実績表

月日	活動地・参加者 ()内は会員外	天候	作業内容	人数
12月23日 (水)	青葉台 20名	晴れ	(光が丘ルート) 路肩、階段の補修	10
			(小林堰堤下、北逆瀬台口〜キツネの森) 大〜小枯れ松の伐採	10
12月26日 (土)	桜の園(亦楽山荘) 31名	曇り	(つつじヶ丘〜赤松展望所) 桜周辺の間伐、枯れ松伐採	11
			(モミジの道) 路肩補修	7
			(桜の尾根) 階段の補修、景観改善のための間伐	9
			(遠見口倉庫、親水広場) 倉庫内整頓、広場の清掃	4
延べ参加者				51

< 活動報告 >

桜の園（亦楽山荘） 2020年12月26日

2020年最終の活動日は31名と多めのご参加を頂きました。

朝礼のあと隔水亭まで上がり、1年間の、若干の軽い故障者はでたものの総じて無事故の御礼を「山の神」に捧げてからそれぞれの作業現場へ向かいました。

伐採班はつつじヶ丘手前の安倉山分岐近くで枯れ松、ヤシヤブシ、ソヨゴの伐採。枯れ松がソヨゴに掛かり引き倒すのにだいぶ苦勞したようです。

園路補修班はモミジの道の路肩を補修。杉板を土留めにし、路との隙間にはちびっこ広場からバケツで何度も運びあげた大小様々な石を詰めて水はけにも配慮した丁寧な仕上げになっています。まだ道半ば、次回以降も継続作業の予定です。桜の尾根では前回に引き続き朽ちたステップの交換と、あらたなステップの設置を行いました。今回で完了です。又、遠見口では斜面の土砂が崩れてきたパイプ棚資材置き場に土砂止めの柵をつくり、散らかった倉庫内を整理しました。(坂田 記)



隔水亭
山の神様に一年間の無事故御礼



つつじヶ丘(安倉山分岐近く)
チェーンソーでのヤシャブシ伐採



モミジの道路肩補修
隙間には小石を詰めて丁寧に仕上げ

青葉台 2020年12月23日

年末間近となりましたが、日当たりのよい場所では汗をかきながらの作業となりました。光が丘ルートでは日照り続きでカラカラに乾いた園路の路肩や階段をイノシシ被害対策も考慮した補修を行いました。また小林堰堤下辺や北逆瀬台口～キツネの森入口の園路周辺の大サイズ2本をチェーンソーとチルホールを使って、小サイズ約20本の枯れ松はオオノコにて伐採しました。終礼時にはご神木に今年一年の安全御礼を奏上しました。

(加賀野 記)



キツネの森入口で大枯れ松の伐採



光が丘ルートで路肩補修



光が丘ルートで階段等の整備

< お知らせ・案内 >

運営委員会報告(12月度)

代表 近藤 茂

2020年12月25日(金) 10:00~12:15 ふらごこむ1

1. 新型コロナウイルス対応・・・政府の2020年12月28日～2021年1月11日の不要不急の外出自粛要請に対応して、当該期間の活動を休止とした。(1月度の会報発送時に前述の内容を連絡しました。また巻頭で述べた様に、臨時運営委員会を開催して引き続き活動を休止することとしました。)
2. 2021年度活動カレンダー・・・現在仕事をしている現役の会員の方にもっと活動に参加しやすくする、また運営委員になって活躍して頂けるようなカレンダー案を作成中。最終案を1月中に決定し、2月末に全会員に印刷物を郵送する。
3. 武庫山の森の“ヤマザクラ見学会”開催・・・宝塚第一小学校区まちづくり協議会から武庫山の森の幹事に、「武庫山の森のヤマザクラ・ツツジ見学会をやらせて欲しい」との申入れがあった。4月4日(日)の武庫山の森の活動日に、一小まちづくり協議会が主催、櫻守の会が支援する形で開催することにした。
4. チェーンソー講習会受講者・・・3月27日に開催予定のチェーンソー講習会への受講希望者が、予定数の

10 名を超えており、1 月中に受講して頂くメンバーを決定することにした。(1 月中旬にメンバーを決定して、ご本人に連絡しました。)

5. 女性会員の新規入会、活動参加率を上げる方策の検討・・・櫻守の会を継続的に発展させるために非常に重要な課題である。現在はコロナ禍で活動休止中であるが、活動再開後に会員皆さん（特に女性会員）の意見を聞いたり、他の団体の状況を調査し参考にして、対応策を検討する。

会員消息

事務局

入会 坪井 壽さん これからもよろしくお願いします。

< 櫻 守 ひ ろ ば >

笹部新太郎氏と亦楽山荘（8） 笹部氏の業績（1979～ ）91 歳で没後

近藤 茂

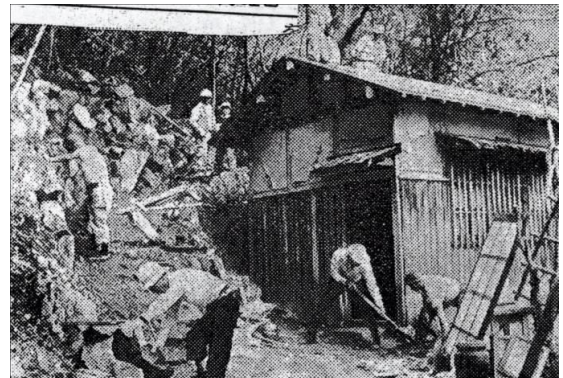
笹部氏の死後、桜関係の資料・コレクションは西宮市に寄贈され、更に（公財）白鹿記念酒造博物館に寄託されて、以後毎年春に「笹部さくらコレクション展」が開催されている。

岡本の笹部邸（阪急岡本駅西 200m）は「岡本南公園」になり、園内には笹部桜など多くの笹部氏と関係がある桜が植えられている。

亦楽山荘は荒れ放題になった。1984 年（昭和 59 年）6 月の朝日新聞にはこんな記事が載っていた。

“宝塚市の武田尾山中に故笹部新太郎氏が育てた「桜の園」の保護活動が地元の人たちの手で始まったが、これまでの自然の猛威によるとみられていた荒廃が、ハイカーらの心ない仕業によるものであることがわかった。笹部氏が研究に使った山荘とその周辺の復旧工事を進めるうちに明らかになったが、石垣の間に植えられていた植木が引き抜かれて石垣が倒壊し、山荘内の研究資料などがごっそり消えていた。(以下 省略)”

その後 1994 年に亦楽山荘は市の所有地になり、整備が進められて 1999 年に里山公園「桜の園」になり、現在に至っている。



西谷地区の人たちによって
隔水亭周辺の整備が行われた

1979 年（昭 54）	没 1	遺言により桜資料・コレクション約 5,000 点が西宮市に寄贈される
1981 年（昭 56）	没 3	岡本の旧笹部邸が神戸市に買い取られ「岡本南公園」になる
1982 年（昭 57）	没 4	西宮市に寄贈された所蔵品が「（公財）白鹿記念酒造博物館」に寄託される
1985 年（昭 60）	没 7	「笹部桜」が新品種に認定される 後年「兵庫県指定天然記念物」に
1991 年（平 3）	没 13	双流社より「櫻男行状・増補版」が出版される ※荘川桜移植などを掲載
1994 年（平 7）	没 17	亦楽山荘 69ha がご遺族からの寄贈と宝塚市の購入により、市の所有地に
1999 年（平 11）	没 21	亦楽山荘が宝塚市の里山公園「桜の園」として再スタート

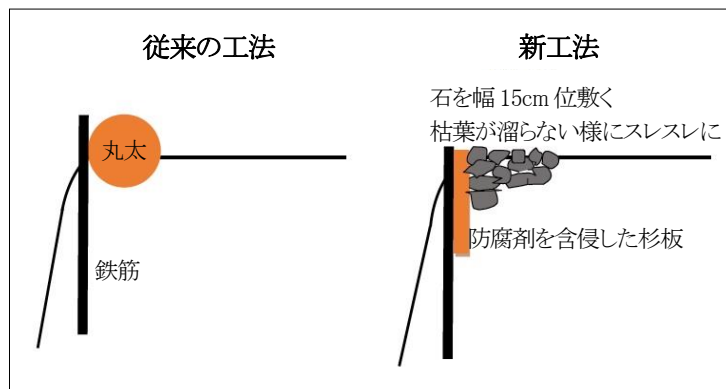
イノシシ対策 路肩つくりの新工法で威力を発揮

片側が谷に落ち込んでいる園路では、路肩が崩れるのを防止するためと安心して歩いてもらうための道しるべとして、路肩に木の丸太を置いてきました。ところが丸太が地面より高くなっているために枯れ

イノシシにより飛んだ路肩の丸太



葉が溜り、この下に生息するミミズなどを狙ってイノシシが掘り返して、丸太が飛んでしまうことが良くありました。そこで会員の皆さんで知恵を出して取り組んだのが、杉板と小石を並べる新工法（図を見てください）です。1月13日に新工法の施工部を見てきました。イノシシ君は土の所は懸命に穴掘りをしていましたが、石の部分で諦めていました。新工法は非常に手間がかかり、1日に20m位しか進みませんが、期待通りの成果が出ていることが検証できました。（さくら守太郎）



イノシシが掘り返した穴は
石の前で止まっていた

情報掲示板

①兵庫県森林ボランティア団体連絡協議会からの情報です。

森林ボランティア活動における新型コロナウイルス対策動画、リーフレット（国土緑化推進機構）国土緑化推進機構 HP で公開されていますので、活動時の参考にしてください。

【詳細】<http://www.green.or.jp/topics/koronataisakudouga/>

②北摂里山博物館運営協議会からの情報です。

「兵庫県／県民だより 2月号」の最終8ページ目の阪神北版（伊丹市・宝塚市・川西市・三田市・猪名川町）に「北摂里山 30」に新しく加わった4か所の里山を紹介しています。

阪神北版が配布されないエリアの方は県のHPから追って見ていただくことができます。

[兵庫県／県民だより 2021年2月号 \(hyogo.lg.jp\)](http://hyogo.lg.jp)

北摂里山博物館のホームページからも見ることができます。

[北摂里山博物館 \(hitosato.jp\)](http://hitosato.jp)

Ctrl キーを押しながらクリックしてリンク先を表示

（事務局）

< 活動予定（2月・3月） >

緊急事態宣言の間、活動を休止します

コロナ感染が収まっていないため、暫くの間活動を休止します。休止の終了は緊急事態宣言が解除される日を目途とし、状況などを総合的に判断し決定して、皆様にお知らせします。

（編集後記） 昨年最後の活動日12月26日の桜の園（亦楽山荘）の活動には31名もの多くの方に参加者して頂きました。参加者30名超えは2020年に6回ありましたが、その以前の30名超えは2016年4月で、なんと4年ぶりでした。昨年の30名超えの月は3月、6月、12月で、活動休止の直前と再開の直後でした。家に巣ごもりしているのがつらくて、心身をリフレッシュするために参加された方が多かったのでしょうか。早く感染が収まり、活動が再開できることを楽しみにしているのは、私だけではなかった様です。（近藤茂記）